

地方独立行政法人天王寺動物園

業務実績評価シート(個票)

令和 5 年度中の業務実績
(令和 6 年度に評価)

【前回からの更新項目】

【評価点】

- V : 計画を大幅に上回って実施している
- IV : 計画を上回って実施している
- III : 計画を順調に実施している
- II : 計画を十分実施できていない
- I : 計画を大幅に下回っている

更新項目 一覧

大項目	小項目（令和５年度計画より）		法人評価	市長評価 （案）	
				前	後
1－3 動物福祉に配慮した飼育管理と高度な飼育技術確立					
	19	第１期リニューアル整備事業の計画に応じた設計及び整備を着実に実施する。	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ
1－4 繁殖及び調査研究活動の推進					
	25	「地方独立行政法人天王寺動物園の調査研究の方針」で定めた重点領域である①動物繁殖生理学領域（種の保存）②動物行動学領域（動物福祉）③その他基礎研究領域（生物多様性）において、継続的に調査研究へ取り組む。	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
4 その他法人の業務運営に関し必要な事項					
	55	今年度、設計若しくは工事を実施する全ての案件において、設計上・工事施工上の観点から来園者及び職員の安全対策に配慮する。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ

評価シート（個票）

通し番号		19		
中期目標		（前文）世界動物園水族館協会加盟園にふさわしい動物園として、「国際社会に貢献し、世界に誇れる動物園」を目指す。		
		第2-3-(2) 動物福祉に配慮した獣舎整備の推進 施設整備計画に基づき、園内の獣舎整備を推進し、新たに建設する獣舎については、広さ、構造、設備等、世界に通用する飼育基準に適合した設計・施工を行うとともに、既存の獣舎についても、改善や工夫を施し、動物にとって適切な飼育環境を確保する。		
P	中期計画	第1-3-(2) 動物福祉に配慮した獣舎整備の推進 新たに建設する獣舎については、日本動物園水族館協会が示すガイドライン以上の広さ、構造、設備等を備えた設計・施工を行うとともに、既存の獣舎についても、工夫を施し、動物福祉に配慮した飼育環境を確保する。 また、既存獣舎についても、維持管理計画に基づき適切な点検・補修を継続するとともに、動物福祉の観点も踏まえた小規模改良を実施する。		
	年度計画	第1期リニューアル整備事業の計画に応じた設計及び整備を着実に実施する。		
	評価事例	Ⅲ	・計画どおりの進捗（整備費増額・工期延長などの未然防止）	
		Ⅳ・Ⅴ	・予算増額を伴わないスペックの向上	
D	行動	・鳥のセカイは、10月に完成し11月にオープンした。 ・仮チンパンジー舎は、8月に部分使用を開始したが、使用開始時点で隙間からチンパンジーが逸走する可能性について予見できず、10月に逸走事故が発生した。逸走防止対策を完了し12月にオープンした。 ・アジアの森（改修）も完成した。 ・アジアの森（拡張）、アフリカの森、日本の里（新築）、新猛禽舎（新築）、夜行性動物舎、ホッキョクグマ舎については、設計施工業者との設計定例会議への参加等を通じて、設計内容を把握するとともに、概算工事費や工程等に問題がないか等を確認し、適宜指示、情報共有、各種調整を図った。 ・樹上の森（新築）、休憩エリア（新築）、日本の里（コウノトリ舎改修）、猛禽舎（改修）については、基本設計まで完了した。		
C	法人の自己評価	Ⅱ	評価理由	新しく整備した仮チンパンジー舎において逸走事故を発生させたため。
	市の評価（案）	Ⅲ	評価理由	第1期リニューアル整備事業が計画どおり進捗しているため。
	ヒアリング結果	第1期リニューアル整備事業を計画に基づいて進めている一方で、獣舎の構造上の問題でチンパンジーの逸走事故を発生させた。市民の安全にも関わることなので、今後は部署間の連携をより強化し、獣舎整備を実施してほしい。 施工業者から法人への引き渡し後の新獣舎において逸走事故を発生させたが、設計・施工については第1期リニューアル整備事業を計画に基づいて進めていることから、計画どおり進捗していると評価できる。 動物福祉に配慮した飼育環境を確保できるよう、引き続きコスト管理や進捗管理を意識して、事業を進めてほしい。		
A	次年度の年度計画	〔19〕第一期リニューアル整備事業に関して令和6年度当初の計画工程に対し、年度末の年度進捗率が100%となるよう整備を実施する。		

評価シート（個票）

通し番号		25	
中期目標		（前文）世界動物園水族館協会加盟園にふさわしい動物園として、「国際社会に貢献し、世界に誇れる動物園」を目指す。 第2-4-(2) 調査研究の推進と知見の共有 動物園として調査研究活動に取り組むとともに、大学等の研究機関等と連携した共同研究を推進する。研究成果については、他園も含めた動物園の活動の改善はもとより、広く住民や社会に還元する。	
P	中期計画	第1-4-(2) 調査研究の推進と知見の共有 自園において取り組むべき調査研究対象を定め、着実に継続するとともに、大学等と連携した共同研究を推進するために、動物園の活用を積極的に周知する。 また、研究成果について、業界団体等の大会や研究会において学術発表することで、知見の共有を図る。	
	年度計画	「地方独立行政法人天王寺動物園の調査研究の方針」で定めた重点領域である①動物繁殖生理学領域（種の保存）②動物行動学領域（動物福祉）③その他基礎研究領域（生物多様性）において、継続的に調査研究へ取り組む。	
	評価事例	Ⅲ	・調査研究の継続
		Ⅳ・Ⅴ	・論文の執筆
D	行動	・各飼育班で研究テーマを決定し、着手した。途中でテーマ変更の必要が生じた班については再度テーマを設定した。 ◆各班の研究テーマ 1班：「ふ卵器の温湿度条件とふ化率・生育率の関係」 「エサ内容とエンジェルウィング発生の関係」 2班：「エミュー嗜好性調査」 3班：「ハクビシンの空間の広さの変化と行動量の比較」 「ホッキョクグマの成長に伴うプール利用時間の変化について」 4班：「チリーフラミンゴとベニイロフラミンゴにおける夜間親子別居の取り組みについて」 「ヨウスコウワニの継続した繁殖と屋外飼育個体による繁殖」 5班：「曖昧化しているキリンの発情周期把握のための、夜間行動調査」 6班：「ネコ科動物における行動レパートリー増加」 ・このうち6班の研究についてはデータが揃ったため、近畿ブロック動物園技術者研究会において発表した。その他の班についても研究を進めた。 ・また、飼育展示課企画班職員と協力して進めた研究については、『動物園水族館雑誌 第65巻第2号（2023年9月）』（査読付き）に掲載された。 【論文名】ふれあい施設の移転に伴う、動物福祉水準の維持・向上を徹底した方針への転換 【著者】井出貴彦、土谷正道、西村慶太、下村幸治、大西一馬、大野ひかり、前田菜穂	
C	法人の自己評価	Ⅳ	評価理由 投稿した論文が『動物園水族館雑誌 第65巻第2号（2023年9月）』に事例報告として掲載されたため。
	市の評価（案）	Ⅳ	評価理由 法人評価のとおり
	ヒアリング結果	日常の飼育・診療業務と並行して、各飼育班が研究テーマを決定し、全体のスケジュールを調整しながら研究を進めている。さらに、データが揃った研究については研究会で発表するだけでなく、投稿論文を執筆し、査読付きの論文雑誌に掲載されている。以上のことから、計画以上に取組が進捗していると評価できる。	
A	次年度の年度計画	[24] 「地方独立行政法人天王寺動物園の調査研究の方針」で定めた重点領域である①動物繁殖生理学領域（種の保存）②動物行動学領域（動物福祉）③その他基礎研究領域（生物多様性）において、連携協定を締結した大学・機関、その他様々な組織と継続的に調査研究へ取り組む。	

評価シート（個票）

通し番号		55		
中期目標		（前文）世界動物園水族館協会加盟園にふさわしい動物園として、「国際社会に貢献し、世界に誇れる動物園」を目指す。		
		第5-2 来園者の安全確保 来園者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、計画的に施設の整備を推進する。		
P	中期計画	第8-2-(5) 来園者の安全確保 園内施設の安全確保や来園者の安全確保に必要な体制の整備及び園内で業務に従事する関係者への安全意識の周知徹底を行う。		
	年度計画	今年度、設計若しくは工事を実施する全ての案件において、設計上・工事施工上の観点から来園者及び職員の安全対策に配慮する。		
	評価事例	Ⅲ	・設計・工事の法令順守および来園者・職員の安全対策の実施	
		Ⅳ・Ⅴ	・工事手順の工夫等による効率的な安全対策の実施	
D	行動	・設計・工事受注者の提案による安全対策を継続して的確に実施し、更なる安全対策として、北園の工事車両出入口について、工事車両と職員の交錯の無い位置に変更した。 ・設計・工事の法令順守はもとより、技術提案および更なる安全対策の実施により、工事車両と来園者・職員・工事関係者の事故は発生しておらず、安全に関するクレームも特になかった。		
C	法人の自己評価	Ⅲ	評価理由	設計・工事の法令順守および来園者・職員の安全対策を実施したため。（評価事例のとおり）
	市の評価（案）	Ⅱ	評価理由	<u>令和5年度完成の獣舎において飼育動物の逸走事故が発生し、来園者の安全を脅かしたため。</u>
	ヒアリング結果	現在施工中の工事において、工事車両と職員が接触しないよう動線を変更するなど適宜安全対策を実施していることから、計画どおり進捗していると評価できる。 <u>現在施工中の工事において、工事車両と職員が接触しないよう動線を変更するなど適宜安全対策を実施している一方で、逸走事故が発生させ、来園者を避難させる必要が生じた。来園者だけでなく市民の安全にも関わることなので、今後は部署間の連携を強化し、来園者及び職員、工事関係者の安全確保に努めてほしい。</u>		
A	次年度の年度計画	[47] 大規模かつ長期間にわたる工事が継続することから、来園者及び職員の安全対策に配慮する。		

【評価点】
Ⅴ：計画を大幅に上回って実施している
Ⅳ：計画を上回って実施している
Ⅲ：計画を順調に実施している
Ⅱ：計画を十分実施できていない
Ⅰ：計画を大幅に下回っている

（※）あくまでも一例であり、列挙されている事例以外にも評価できるものがあれば、反映して評価を行う。

項目	小項目（年度計画より）	評価「Ⅲ」相当の例	評価「Ⅳ・Ⅴ」相当の例（※）	法人自己評価		市長評価		評価委員会意見（要旨）
				評価点	理由	評価点	理由	
1－1 動物展示の充実と快適な園内環境の創出による動物園の魅力向上								
	1	前年度の交渉進捗を踏まえた上で、コレクション計画に基づき新規希少動物の導入を目指す。	・動物導入に向けた準備・交渉の順調な進捗による動物導入の実績	・新たな動物導入の一般公開（既存獣舎改修も一定の目途）	Ⅲ	コレクション計画に基づき複数種の動物を導入したため。	Ⅲ	法人評価のとおり
	2	JAZAの個体群管理計画に基づく種別管理等を継続して受嘱するとともに、第23回種保存会議をホストとして開催し、種の保存事業に貢献する。	・種別管理の担当や部会員を継続して受嘱 ・種保存会議の開催	・新たな種別管理、部会員を担当 ・種別管理等の担当をすることで園に何らかのメリットが得られた場合	Ⅳ	種別管理の担当や部会員を継続して受嘱したことに加え、2年に一度全国規模で開催される「第23回種保存会議」を成功裏に終えたため。	Ⅳ	クロサイ専門技術員の後任を改めて法人職員が受嘱するなど、新規動物の導入に欠かせない国内の動物園との信頼構築が見られるため。
	3	JAZA、WAZA開催の研究会、地域別会議等に積極的に参画し、得られた情報を共有する。	・研究会等への参加・協力の上、得られた情報を園内で共有	・研究会等で得られた知識により飼育技術に向上が見られた場合	Ⅲ	研究会等への参加・協力の上、得られた情報を園内で共有したため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり
	4	昨年度の検証を踏まえイベントを実施するとともに、結果を検証し、必要に応じ実施内容やイベントに関する指針に反映させる。	・イベントの実施および検証結果の指針への反映	・検証結果を次期イベントに反映したことによる集客増やアンケートでの高評価	Ⅲ	今年度は、新型コロナウイルス感染症の緩和に伴いワークショップ型のイベントを多く実施した。アンケート結果をもとにした改善や、新規イベントで高評価を得たため。	Ⅲ	法人評価のとおり
	5	昨年度に実施した近隣商業施設や交通機関等との連携イベント等の検証を踏まえた取り組みを行うとともに、結果を検証し、必要に応じ実施内容や前項指針に反映させる。	・近隣商業施設や交通機関等との連携イベントの継続および検証結果の指針への反映	・新たな連携による集客増やアンケートでの高評価 ・連携事業への参加・利用者数の増	Ⅲ	近鉄不動産との連携をはじめ、交通機関との連携割引を実施したため。	Ⅲ	法人評価のとおり
	6	広報戦略（令和3年度策定）に基づいた情報発信を行うとともに、実績を検証し、必要に応じて有識者の意見を聞くなどして、戦略に反映させる。	・継続した情報発信および実績検証	・SNSのフォロワー数の大幅な増 ・HPでのお知らせ、スタッフブログ等、報道発表の発信件数がR3年度以上。（第1期中期計画期間はR3を基準とする）	Ⅲ	情報発信を継続し、実績の検証を行ったため。	Ⅲ	法人評価のとおり
	7	多言語化したホームページを継続して更新を行う。	・更新の継続	・当初方針以上の多言語化実績	Ⅲ	更新の継続および点検を行ったため。	Ⅲ	法人評価のとおり
	8	引き続き、ホスピタリティマインド醸成に関する方針に基づく取組（研修、研修効果定着のための取組など、研修効果チェック）を実施する。	・方針に基づく研修実施と効果チェック等の確実な実施	・来園者の満足度向上 ・研修受講対象者の拡大 ・効果の定着実績	Ⅲ	職員個々に対する個人面談を実施し、ホスピタリティマインド醸成研修を委託業者からも参加者を募り実施したため。	Ⅲ	法人評価のとおり
	9	継続して、定期点検を実施し、結果の速やかな周知と対応により、美観保持に努める。	・定期点検の継続実施	・点検時の指摘件数の減（前年度比）	Ⅲ	巡視点検を行い、各課に対策を依頼したため。	Ⅲ	巡視点検を行い、必要な対策を講じたため。
	10	園内掲示物整備アクションプランに基づく園内掲示物の点検及び更新を行う。	・園内掲示物の点検及び更新の実施	・来園者の声等に基づくアクションプランの更なる改良	Ⅲ	アクションプランの周知を行うとともに、アクションプランに基づいて掲示物を作成し、随時更新したため。	Ⅲ	法人評価のとおり
	11	ホッキョクグマ舎の実施設計（令和4年度着手・令和5年度完了）を、ユニバーサルな観覧環境に配慮したものとする。	・ホッキョクグマ舎の実施設計における観覧環境への配慮	・予算の範囲内で、当初計画以上のユニバーサルデザインの採用	Ⅲ	ホッキョクグマ舎について観覧環境に配慮した実施設計を実施したため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり
	12	継続して、来園者の声を分析し園運営に反映する。（HP・SNS含む。）	・継続した来園者の声の分析と園運営への反映	・来園者の満足度向上 ・お客様の声を反映した改善事例がR3年度以上。（第1期中期計画期間はR3を基準とする）	Ⅲ	できる限り多くお客様の声を収集するため、その月の収集数を勘案しながら、園内でアンケート調査を行い、分析し反映したため。	Ⅲ	法人評価のとおり

項目	小項目（年度計画より）		評価「Ⅲ」相当の例	評価「Ⅳ・Ⅴ」相当の例（※）	法人自己評価		市長評価		評価委員会意見（要旨）
					評価点	理由	評価点	理由	
1－2 動物の生態等に関する理解や関心を深めるための教育活動の推進									
	13	・新ペンギン・アシカ舎では水中での採餌行動観察が可能になるため、おやつ・ごはんタイムに教育的イベントとしての要素を持たせた解説など新たな取り組みを図る。 ・ふれんどしっぷガーデンのイベントについては、来園者の満足度を把握するアンケート調査を継続し、必要に応じ検証に基づいたプログラムの修正を図る。	・新ペンギン・アシカ舎での教育的イベントの実施 ・ふれんどしっぷガーデンでの効果検証	・効果検証の結果、教育効果の向上が見られた場合	Ⅲ	双方のイベントで教育効果の測定を開始し、教育効果を高めることができたため。	Ⅲ	新ペンギン・アシカ舎での教育的イベントを実施し、ふれんどしっぷガーデンでの効果検証を行ったため。	
	14	教育普及アクションプログラム（令和4年度版）に基づいたメニューを実施するとともに、結果を検証し、必要に応じて他メニュー、プログラムに反映する。	・教育普及アクションプログラムに基づくメニューの実施および結果検証	・教育アクションプログラムに基づく取り組みによる来園者の行動変容の実績	Ⅲ	教育普及アクションプログラムに基づいたメニューを年度を通して実施したため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	15	新たなボランティア制度に基づくボランティア活動の充実を図る。	・新たなボランティア制度の運用	・ボランティア参加者の増加	Ⅲ	最大募集人数30名に近づけるため、ホームページから募集案内まで簡単に入っていけるように工夫し、ボランティアがモチベーションを保てるようなイベントを検討したため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
1－3 動物福祉に配慮した飼育管理と高度な飼育技術確立									
	16	令和4年度に共有したヒヤリハット事例をもとに飼育連絡会議などの場を利用し、継続的な安全教育を実施する。	・ヒヤリハットの定期的な事例共有及びマニュアルの定期的な検証	・新たな安全教育、安全対策の実施	Ⅲ	ヒヤリハット事例をもとに継続的な安全教育を実施したため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	17	環境エンリッチメント、ハズバンダリートレーニングに関する方針（令和3年度策定）に基づき、取り組み中の種について継続実施するとともに、効果を検証し、実施種数を増やすとともに、取組内容の改善を図る。	・取組み種の継続実施および拡充（R5目標＝ハズバンダリートレーニング：37種、エンリッチ：57種）とその効果検証	・目標取組数以上に取組みが進捗 ・安全面などの取組内容の質的向上	Ⅲ	取組み種の継続実施および拡充とその効果検証を行ったため。（評価事例のとおり）	Ⅳ	計画どおり実施種数の増加が出来ている上、独法化以降、継続して実施及び拡充できており、園全体の技術が向上していると判断できるため。	
	18	昨年度作成した新動物病院計画の与条件整理表をブラッシュアップし、令和6年度基本計画発注のための準備を整える。	・与条件整理表のブラッシュアップ	・与条件整理表に基づく基本計画の策定	Ⅲ	与条件整理表のブラッシュアップのための情報収集等を実施したため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	19	第1期リニューアル整備事業の計画に応じた設計及び整備を着実に実施する。	・計画どおりの進捗（整備費増額・工期延長などの未然防止）	・予算増額を伴わないスペックの向上	Ⅱ	新しく整備した仮チンパンジー舎において逸走事故を発生させたため。	Ⅲ	第1期リニューアル整備事業が計画どおり進捗しているため。	
	20	維持管理計画や施設管理点検に基づく補修・点検を着実に実施する。	・補修・点検の着実な実施	・計画的な補修等による緊急修繕件数の減少（前年度比）	Ⅲ	維持管理計画および施設管理点検に基づく補修・点検を着実に実施したため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	21	動物福祉の観点から策定された「小規模改修計画」に基づき、改修を実施する。	・計画に基づく改修の実施	・予算増額を伴わない計画以上の改修の進捗	Ⅲ	計画に基づく改修を実施したため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
1－4 繁殖及び調査研究活動の推進									
	22	繁殖推進種ごとの繁殖に向けたチェックポイントの項目を継続実施するとともに、必要に応じてチェックポイントの見直しを継続する。	・チェックポイント項目の継続実施およびチェックポイントの見直し実績	・繁殖実績	Ⅳ	チェックシートに基づく環境整備により、フラミンゴ（チリー・ベニイロ）の繁殖という結果が得られたため。	Ⅳ	法人評価のとおり	
	23	前年度に成功したオグロゾルの採精手技の再現性確保及び継続的な採取に取り組む。	・オグロゾル、ソデグロゾルの繁殖へ向け継続した取組み	・授精の成功	Ⅲ	定期的に採精練習を行い再現性向上に努めた上、次年度の人工授精に向けた調整を進めたため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	24	・ニホンイシガメについては、環境整備ができたことから、繁殖に取り組むほか、保全につながる啓発活動として、企画展を実施する。 ・また新たな取組として、オオサンショウウオの保全につながる取組について計画を策定する。	・ニホンイシガメの繁殖及び企画展の実施 ・オオサンショウウオの保全計画策定	・ニホンイシガメの保全活動の取組み ・新たな種の保全活動の啓発活動 ・保全活動に向けた新たな取組実績 ・保全（繁殖）につながる活動	Ⅲ	ニホンイシガメについては啓発活動として企画展を実施し、オオサンショウウオについては保全活動に向けて、情報収集と他園との関係構築を行い、次年度へつながる計画の策定を行ったため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	25	「地方独立行政法人天王寺動物園の調査研究の方針」で定めた重点領域である①動物繁殖生理学領域（種の保存）②動物行動学領域（動物福祉）③その他基礎研究領域（生物多様性）において、継続的に調査研究へ取り組む。	・調査研究の継続	・論文の執筆	Ⅳ	投稿した論文が『動物園水族館雑誌 第65巻第2号（2023年9月）』に事例報告として掲載されたため。	Ⅳ	法人評価のとおり	
	26	連携協定に基づき大学・機関との取組を進める。	・連携協定に基づく取組の実施	・連携協定による具体的な成果 ・新たな大学、研究機関等との連携協定の締結	Ⅲ	継続して共同研究等を実施しているため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	27	ホームページ等で大学等との研究機関との協定による研究実績や、取り組み段階でも可能なものについては発表し、知見の共有を図る。	・園ＨＰの充実 ・共同で進めている研究実績などの発表	・知見を共有したことにより、新たな研究につながったなどの次の展開実績	Ⅲ	研究成果を公表したため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	28	研究の成果については、研究会等において発表を行う。	・研究会等における発表	・各種賞の受賞 ・複数の異なる職員による研究発表 ・園内およびＨＰなどでの公表	Ⅳ	複数職員による複数の発表をしたため。	Ⅳ	多数の発表をしており、それが動物園としての地位向上に繋がっているため。	

項目	小項目（年度計画より）		評価「Ⅲ」相当の例	評価「Ⅳ・Ⅴ」相当の例（※）	法人自己評価		市長評価		評価委員会意見（要旨）
					評価点	理由	評価点	理由	
2－1 自律的な組織経営									
	29	各種職員研修において法人の目指す姿を共有し定着化を図るとともにホームページでの情報発信の充実を図る。	・各職員への研修の実施 ・ホームページ等での情報発信の充実	（例示なし）	Ⅲ	各職員への研修を実施し、ホームページ等で情報発信の充実を図ったため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	30	法人内でのヒアリング等により組織の役職や人員数の改編・補充について点検し、必要に応じて対応する。	・点検の継続 ・必要に応じた組織改編・人員補充	（例示なし）	Ⅲ	人員体制についてヒアリングなど点検作業を実施し、採用活動も含め次年度の体制を確立したため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	31	各種業務の実施にあたり、外部の専門人材登用が必要かどうかを検討する。	・各種業務の実施に伴う外部の専門人材の検討実施及び実施効果の検証	・専門人材登用による効果の発現	Ⅲ	各種業務の実施に伴う外部の専門人材について計画どおり検討を進めたため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
2－2 人材の確保・育成と職員の能力向上・意欲喚起									
	32	人材育成方針及び計画に基づき各種人事業務を実施するとともに、必要に応じて方針及び計画を修正する。	・昨年度策定した方針及び計画に基づく研修実施 ・方針及び計画の必要に応じた見直し	（例示なし）	Ⅲ	昨年度策定した方針及び計画に基づき研修を実施し、人事関連方針について適宜見直しを図ったため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	33	人材育成方針及び計画に基づき研修を実施するとともにアンケート、効果、業界で求められるスキルを踏まえ研修計画を随時見直す。	・計画的な研修の実施 ・計画の見直し	（例示なし）	Ⅲ	計画的に研修を実施でき、新しい研修についても検討するなど現状を反映し修正したため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	34	資格取得支援の仕組みを浸透させ、必要に応じて支援対象資格を追加する。	・資格取得支援の仕組みの定着 ・必要に応じた支援対象資格の追加	・資格に挑戦する職員の増 ・多数の資格取得者	Ⅲ	資格取得支援の仕組みを定着させ、新たな資格メニューの取得申請があれば都度業務とのかかわりを踏まえ検討したため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	35	人事評価制度を運用するとともに、制度内容を検証のうえ、必要に応じて制度を見直す。	・人事評価制度の運用 ・必要に応じた見直し	・職員にインセンティブが働く評価制度の構築	Ⅲ	人事評価制度を適切に運用し、インセンティブを反映できる制度を構築するための調整を進めたため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
2－3 効果的・効率的な業務執行									
	36	年度計画および中期計画の進捗状況を定期的に市と共有し意見交換を行い、必要に応じて中期計画の変更を行う。	・進捗管理シートによる進捗状況の確認及び市との共有 ・必要に応じた中期計画の変更	（例示なし）	Ⅲ	進捗管理シートによる進捗状況の確認及び市との共有を定期的に行い、必要に応じて中期計画の変更を行ったため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	37	引き続き、人事財務分野において導入した各種機器の安定運用を図るとともに、担当者変更等に伴う引継ぎを着実に実施する。	・導入しているシステムの安定運用	・新たなシステム導入	Ⅲ	導入しているシステムについて安定的に運用したため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	38	昨年度の日常飼育・トレーニング分野における電子カルテへの統合運用が困難となったため、原因課題を整理し、手法を変えて診療記録と飼育記録のプラットフォームを構築する。	・診療記録と飼育記録のプラットフォームの構築	・プラットフォームの現場での運用	Ⅲ	電子カルテから方法を変更し、診療記録と飼育記録のプラットフォームを構築できたため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
3－1 収入の確保									
	39	入園料収入4.8億円・入園者数174万人を目標とする。（令和5年度予算）	・目標値の達成（コロナによる影響は別途検証）	・目標値を大幅に上回る場合	Ⅲ	目標の174万人に届かなかったものの、入園料収入は目標を上回ったため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	40	継続してファンクラブ募集に取り組み、会費収入額を前年度比1.2倍を目標とする。	・会費収入額が前年度比1.2倍	・目標とする会費収入を大幅に上回る ・加入者数の大幅な増加	Ⅱ	会費収入額が前年比1.1倍であるため。	Ⅱ	法人評価のとおり	
	41	前回クラウドファンディングの検証を踏まえ、次期クラウドファンディングのメニューおよび実施時期を検討する。	・次期クラウドファンディングのメニューおよび実施時期の検討	・次期クラウドファンディングの実施	Ⅲ	クラウドファンディングのメニューおよび実施時期の検討を行ったため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	42	営業実績（令和4年度）の検証を踏まえた営業計画（令和5年度）に基づき営業を実施する。	・営業計画（R5）に基づいた営業による寄附の獲得	・予算を大幅に上回る寄附実績（物品含む） ・寄附者数の大幅な増 ・新たなファンドレイジング手法の実施	Ⅲ	営業による寄附の獲得を実現したため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	43	寄附額25百万円（クラウドファンディングを除く）を目標とする。（令和5年度予算）	・寄附額25百万円（令和5年度予算）以上の獲得	・目標額を大幅に上回り、かつ獲得プロセスとの因果関係が明確な場合	Ⅲ	寄附額が増加したため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	44	例年実績と同等のオリジナルグッズの開発・販売、予算の達成（令和5年度予算 7百万円）	・予算の達成	・新たなオリジナルグッズ販売により入園料外収入が予算を大幅に上回る場合	Ⅳ	新規オリジナルグッズを開発し、また、有料入園者数の増により予算以上の大幅な売り上げを達成したため。	Ⅳ	法人評価のとおり	
3－2 経費の節減									
	45	今年度オープンするペンギンアシカ舎における水道・電気の使用量について、当初想定している使用量と実際の使用量とを比較し、適切な運用に向け検証する。	・水道・電気使用量の検証	・検証による使用量の削減に向けた取組	Ⅲ	水道使用量の検証を実施したため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	46	法人での獣舎整備が、大阪市直営時代で整備した場合と比べて1割のコスト縮減を図る。	・獣舎整備の1割のコスト縮減	・予算増額を伴わないスペックの向上	Ⅲ	当初契約として約1割のコスト縮減を図ったため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	

項目	小項目（年度計画より）		評価「Ⅲ」相当の例	評価「Ⅳ・Ⅴ」相当の例（※）	法人自己評価		市長評価		評価委員会意見（要旨）
					評価点	理由	評価点	理由	
4	その他法人の業務運営に関し必要な事項								
	47	内部統制委員会において、内部統制の整備及び運用に関する定期的な状況報告を踏まえ、必要な改善策を検討する。	・内部統制体制に関する定期的な検証	・検証の結果を踏まえた改善実績	Ⅲ	内部統制体制に関する定期的な検証活動として内部統制委員会を開催し、コンプライアンス研修、コンプライアンス強化月間などを実施したため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	48	リスク管理規程に基づくリスク管理を着実に実施する。	・リスク管理の継続実施	・リスク発生の未然防止の実績	Ⅲ	リスク管理委員会を適宜開催し、リスクを継続して管理したため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	49	規程類について、新規採用者及び転入異動職員に研修する。（上半期）	・新規採用者及び転入異動職員への研修の実施	・研修内容の拡充や対象者の拡大	Ⅲ	新規採用者及び転入異動職員への研修を実施したため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	50	諸規程類の運用状況を確認のうえ、必要に応じて見直し若しくは新たに整備するなどの対応を行う。（下半期）	・諸規程類の運用状況の確認と必要に応じた新規整備	（例示なし）	Ⅲ	諸規程類の運用状況を確認し、改正および新規整備を行ったため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	51	コンプライアンス浸透のため、従来の研修のほか強化月間を設けるなど新たな取組を実施する。	・新たな取組の実施	（例示なし）	Ⅲ	コンプライアンス研修の他に新たな取組としてコンプライアンス強化月間を実施したため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	52	個人情報取扱事務に関する重要管理ポイントが着実に浸透するよう、研修等で周知を図る。	・研修の実施	（例示なし）	Ⅲ	重要管理ポイントを策定し、順守されているか点検を実施し、研修も実施したため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	53	内部監査・監事監査を実施するとともに、前年度の改善措置や不適正な事案等の発生を受けた再発防止策が講じられているかを随時監査において確認する。	・内部監査・監事監査の実施 ・随時監査の実施	（例示なし）	Ⅲ	内部監査および監事監査を実施したため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	54	セキュリティポリシー、マニュアルの運用状況を検証のうえ、必要に応じて改訂を行うとともに、設立団体並みの研修を実施する。	・必要に応じたマニュアルの改訂および研修の実施	・研修内容の充実（設立団体以上）	Ⅲ	情報セキュリティ研修を実施したため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	55	今年度、設計若しくは工事を実施する全ての案件において、設計上・工事施工上の観点から来園者及び職員の安全対策に配慮する。	・設計・工事の法令順守および来園者・職員の安全対策の実施	・工事手順の工夫等による効率的な安全対策の実施	Ⅲ	設計・工事の法令順守および来園者・職員の安全対策を実施したため。（評価事例のとおり）	Ⅱ	令和5年度完成の獣舎において飼育動物の逸走事故が発生し、来園者の安全を脅かしたため。	
	56	獣舎及び園内施設の定期点検を着実に行う。	・定期点検の着実な実施	・点検結果を施設の適切な維持管理に反映させる仕組みの構築	Ⅲ	各種点検を着実に実施したため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	57	天王寺消防署協力のもと、より質の高い災害訓練を実施する。猛獣脱出訓練についてはより実態に即した設定を構築し、より効果的な訓練を実施する。	・消防署と連携した災害訓練の実施 ・効果的な猛獣脱出訓練の実施	（例示なし）	Ⅲ	チンパンジー逸走事故を受け、より実態に即した設定を構築し、より効果的な訓練を実施したため。	Ⅲ	法人評価のとおり	
	58	委託事業者と協力のうえ、引き続き新型コロナウイルスに関する大阪府の方針に基づいた感染対策を講じる。	・委託事業者と協力した感染症対策の実施	（例示なし）	Ⅲ	委託事業者と協力した感染症対策を実施したため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	59	安全衛生管理体制の確立と職員の健康保持のための取組を進めるとともに健診等を着実に実施する。	・安全衛生管理体制の確立と健診等の着実な実施	（例示なし）	Ⅲ	安全衛生管理委員会を適宜開催し、健診、ストレスチェック、健康講座を着実に実施したため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	60	SDGsに関する園内での取組を拡充するとともに、企業等と協働しSDGsの取組を進める。	・SDGsの園内での取組拡充及び企業等との協働	・取組内容の拡充実績	Ⅳ	ユニフォームのアップサイクル、企業等と協働したイベントや食品ロス削減、廃棄木材の削減などSDGsの取組内容を拡充したため。（評価事例のとおり）	Ⅳ	法人評価のとおり	
	61	業務に関する年報（Annual Report）を公表する。	・年報の公表	（例示なし）	Ⅲ	年報をはじめ財務諸表等をホームページ上で公表したため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	62	BCPの検討を一層進めるとともにその内容を法人内で共有する。	・BCPの検討の推進及び法人内共有	（例示なし）	Ⅲ	BCP検討会議を開催し検討を進めるとともに法人内での共有を行ったため。（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	